

いちめんのなのはな

令和2年1月10日(金)

校長 鈴木 誠

令和2年と令和元年度の3学期が始まりました



六ツ美中部小を照らす初日の出

午前7時15分、東方の山並みから初日の出が顔を出し、穏やかに六ツ美中部小学校の令和2年が幕を開けました。そして、令和元年度の3学期が始まりました。3学期、そして本年も六ツ美中部小学校をよろしくお願ひするとともに、皆様の益々の御健勝ならびに御多幸を御祈念させていただきます。

3学期と年のはじめの御挨拶として、始業式での式辞を掲載させていただきます。

式辞

初日の出が校舎を照らし、運動場が明るくなりました。六ツ美中部小学校の令和二年の素敵な始まりでした。さて、今年は何年(どし)か知っていますか。そう、ネズミ年ですね。十二支の一番初めの年で、可能性の年、そして大きく栄える年とも言われます。夢をもって力強く歩んでほしいと思います。

そこで、励んでもらいたいことが二つあります。一つ目は「粘り強く」です。自分で決めたことを「ずっと続け」られたら、自分をうんと好きになり、自分を誇りに思えるようになると思います。そして、二つ目は「認め合う」です。周りの人の良さを認めたり、違いを受け入れたりしてほしいのです。元気な人、穏やかな人、決めるのが早い人、じっくり考える人、また、早く走ること、周りをよく見て歩くこと、世の中には、たくさんのステキがあふれているのです。そして、台風や大雨などにより未だに苦勞の多い生活をされている方も多くいらっしゃいます。努力をすることのつらさを知り、自分を誇れる人ほど、たくさんのことに気が付き、素直に自分との違いを認め、思い合ったり好きになったりすることができるのではないのでしょうか。粘(ね)り強く、ずっと続ける、認(み)め合う、「ね・ず・み」を大切にしましょう。

さて、三学期は、中部だいすきデーや縄跳び大会などがありますね。そして、学年のまとめのときでもありますね。「ね・ず・み」を大切に、自分がどれだけ成長できたかを振り返りましょう。そして、勉強大好き、運動大好き、中部大好きをますます磨きましょ。あなたの精一杯を応援し続けます。

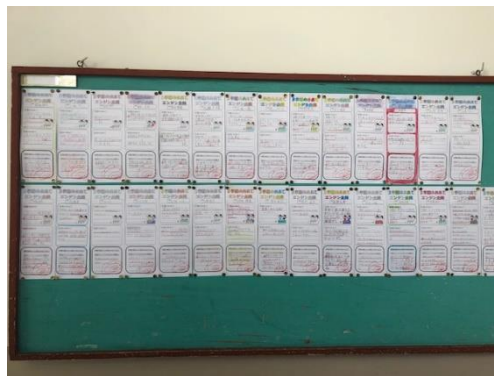
令和2年1月7日

岡崎市立六ツ美中部小学校 校長 鈴木 誠

そして、校内や教室には、子供たちの3学期の抱負やめあてが掲示されました。6年生の子供たちのめあてを紹介します。

- ・あたりまえで、できていないことをあたりまえにしたい
- ・中学の勉強を理解するために復習をしっかりとる
- ・国語を克服して得意にする
- ・通りかかった人と必ず聞こえる声で挨拶をする
- ・地域の人にいっぱい挨拶をする

子供たちの励む姿を楽しみにし、応援し続けます。





抱負を述べる代表と傾聴する子供たち

始業式 1月7日(火)

教室に、運動場に、子供たちの笑顔や元気な姿があふれ、学校に活気が戻りました。

始業式では、児童の代表として、1年1組の安藤さんと5年1組の萩原君が抱負を発表しました。

安藤さんは、6年生からもらったアサガオの種を通して命のつながりを学んだことや学芸会でピアノ伴奏をがんばったことを振り返りながら、2年生につなげる学習をがんばりたいと述べました。

萩原君は、3学期を6年生の「0学期」ととらえて6年生への準備のための3つの目標を披露しました。

式のはじめから終わりまで、背筋を伸ばして話す人の言葉に耳を傾ける子供たちの姿から新しい年と学期に向けた意欲を感じました。

校内書き初め大会 1月8日(水)

校内書き初め大会を行いました。2学期から授業で練習したり、冬休みの間に練習したりしてきた成果を発揮しようと、どの子も真剣に書き初め用紙に向かいました。

よい姿勢、よい筆記具の持ち方は生涯の宝です。日頃から大切にしてほしいと願っています。

